

新しい総合計画の策定に向けて～町民と行政の協働で描く ABIRA の未来

新しい総合計画の策定に向けて、町民と町職員で構成している「町民まちづくり会議」が開催されています。

この、まちづくり会議では、10年後の目指すべき安平町の将来像や、将来像を実現するための分野ごとの基本目標などについて、ワークショップ形式により、6月から9月にかけて全5回の開催を予定しています。

今号では、6月28日に開催した第2回町民まちづくり会議のワークショップで話された意見の一部についてご紹介します。

紙面の都合上、意見を要約して掲載しています。詳細は、町公式ホームページ「第2次安平町総合計画 専用ページ」をご覧ください。



ワークショップの様子

	開催日・場所	ワークショップテーマ
第1回	6月8日(火) 追分公民館	10年後に安平町がどのようなまちになってほしいか考えましょう。
第2回	6月28日(火) 早来町民センター	「目指すべきまちの姿」の実現に向けた安平町の「強み」を考えましょう。
第3回	7月26日(火) 追分公民館	具体的な将来像の方向性を確認し、実現するための戦略を考えましょう。

ワークショップテーマ 「『目指すべきまちの姿』の実現に向けた安平町の「強み」を考えましょう」

主な分野	項目・強み	何が強みなのか？ ほかよりも何が優れているのか？
立 地 条 件	<ul style="list-style-type: none"> ・空港や港などの交通拠点が至近な場所にあること。 また、JR・高速道路・国道など公共交通軸があり、交通インフラが整備されていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスの拠点が揃っており、他の市町村と比較しても条件は整っている。 ・車が無ければ不便ではあるが、町内に「高速道路IC」「特急が停車するJR駅」があり、国際空港や重要港湾に至近であることは強みである。
産 業 経 済	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的な名馬（種牡馬）を多数輩出していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇る名馬を擁していることは、短期間で築けるものではなく、唯一無二の血統・ブランドを持つ馬産地であることは大きな優位性である。
子 育 て 教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に2つの公私連携型幼保連携型認定こども園があること（できること）。 ・コミュニティ・スクールや「ふるさと教育・学社融合体制」があり、幼小中高の連携がなされていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公私連携型幼保連携型認定こども園は全国でも数少なく、過疎地域において公私連携による運営を実現できることは大きな強みになる。 ・現在取り組んでいるコミュニティ・スクールにより、地域一体となった教育を推進していることは、他の自治体に比べて優位性がある。
コミュニティ 行 政 運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ活動があり、地域見守り活動など、行政の手が行き届かないサービスを町民が支えていること。 ・行政が身近であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の衰退が顕著となっている社会情勢の中、現在も自治会町内会の活動が機能している。 ・率先して、ボランティアに取り組む人が多い。 ・町民と行政の距離が近いことは、近隣都市に負けない強みである。